Wireless LAN Adapter

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 CardBus用 無線LANカード

LAN-WN23/CB

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 ExpressCard用 無線LANカード

LAN-WN23/EC

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

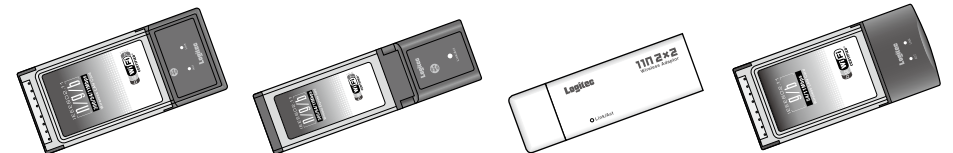
LAN-WN22/U2

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-WN12/U2

IEEE802.11g/11b準拠 CardBus用 無線LANカード

LAN-WG/CBB

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANアダプタ4製品を総称して「本製品」と表記しています。
11n（Draft）	IEEE802.11n規格のDraft版を「11n（Draft）」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線LANブロードバンドを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線アダプタ	PCカードタイプの無線LANカード、無線LAN USBアダプタの総称である「無線LANアダプタ」を略して「無線アダプタ」と表記しています。
無線クライアント	無線アダプタを取り付けたパソコン、または無線LAN機能を内蔵したパソコンを「無線クライアント」と表記しています。
有線クライアント	LANアダプタ（イーサネットアダプタ）を持ったパソコンのことを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 CardBus用 無線LANカード
LAN-WN23/CB

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 ExpressCard用 無線LANカード
LAN-WN23/EC

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ
LAN-WN22/U2

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ
LAN-WN12/U2

IEEE802.11g/11b準拠 CardBus用 無線LANカード
LAN-WG/CBB

User's Manual
ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線LANアダプタ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルは無線LANアダプタ4製品共通になっており、無線LANアダプタを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアダプタを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、無線LANアダプタ5製品共通のマニュアルとなっております。「LAN-WG/CBB」については、IEEE802.11g/11b規格のみに対応し、IEEE802.11n（Draft）規格には対応しておりません。そのためIEEE802.11n（Draft）に関連する一部の説明内容や画面例が「LAN-WG/CBB」に対応する機能と異なる場合があります。内容を読み替えてご利用ください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠ **警　告**	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

⚠ 警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品を取り付けたパソコン本体から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を取り付けたパソコン本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注　意

本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

本製品の取り付け、取り外しのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間、本製品を取り付けたパソコン本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概要編

このマニュアルは、無線LANアダプタ 5製品共通のマニュアルとなっております。
「LAN-WG/CBB」については、IEEE802.11g/11b規格のみに対応し、IEEE802.11n（Draft）規格には対応しておりません。そのためIEEE802.11n（Draft）に関連する一部の説明内容や画面例が「LAN-WG/CBB」に対応する機能と異なる場合があります。内容を読み替えてご利用ください。

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間
保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲
次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して
別冊の「かんたんセットアップガイド」の「サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

ロジテック ホームページ　http://www.logitec.co.jp/

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。
登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060　　FAX：0570-033-034
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00　※FAXによる受付は24時間対応しております。
（ただし，夏期，年末年始の特定休業日，祝日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

●テクニカルサポートにお電話、FAXされる前に
お手数ですが、テクニカルサポートにお電話される前に、次の項目について確認してください。
◆お電話される前に、パソコンを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
◆対象製品が取り付けられたパソコンの前から会話が可能な場合は，パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
◆FAXを送られる場合は，詳しい内容を書いた書面を添えて送付いただくと解決しやすくなります。

お調べいただきたい内容
◆ネットワーク構成
・使用しているネットワークアダプタ　　・使用しているOS
・使用しているパソコンのメーカおよび型番
・ネットワークを構成するパソコンの台数とOSの構成
・ネットワークを構成するその他の関連機器（ハブ、ルータなど）
◆具体的な現象，事前にお客様が試みられた事項（あればお伝えください）

3 本製品の概要について

本製品の特長

●IEEE802.11n（Draft）準拠で最大300Mbps（理論値）の高性能アダプタ※

IEEE802.11n（Draft）に準拠し、無線LANで最大300Mbps（理論値）という高速なデータ通信が可能です。障害物にも強く、従来よりも長い伝送距離でも高速で安定した通信が可能です。

※LAN-WG/CBBを除く

●使用するパソコンの仕様にあわせて選べる5製品をご用意

11n（Draft）準拠モデルとして、CardBusスロット用で送信アンテナ2本/受信アンテナ3本の「LAN-WN23/CB」、ExpressCardスロット用で送信アンテナ2本/受信アンテナ3本の「LAN-WN23/EC」、USB2.0用で送信アンテナ2本/受信アンテナ2本の「LAN-WN22/U2」、USB2.0用で送信アンテナ1本/受信アンテナ2本の「LAN-WN12/U2」の4製品をご用意。ご使用になるパソコンやお住まいの住宅の構造にあわせて選べます。また、リーズナブルな11g/11b準拠の「LAN-WG/CBB」もご用意しており、ご使用になるパソコンやお住まいの住宅の構造にあわせて選べます。

●WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用

「ボタン方式」または「PIN方式」の2種類の方法で、面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。

●IEEE802.11n（Draft）/11g/11bの中から優先するネットワークに接続可能

無線LANアダプタ同士で通信するアドホックモードと、無線APや無線ルータを使用するインフラストラクチャーモードに対応します。

●伝送方式にOFDM方式を採用

IEEE802.11n（Draft）/11gは、伝送方式にOFDM（Orthogonal Frequency Division Multiplexing＝直交周波数分割多重）方式を採用しています。この方式はデータを多重化して送信するマルチキャリア伝送方式で伝送特性の劣化を軽減することができ、安定したデータ伝送を可能にする伝送方式です。

※IEEE802.11b（11Mbps）はDS-SS方式（直接拡散スペクトラム方式）を採用しています。

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格であるWPA-PSK/WPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、従来からあるWEP（128/64bit）にも対応しています。

●さまざまな設定が可能な設定ユーティリティソフトが付属

無線LANを便利に使いこなせる、さまざまな設定機能がある設定ユーティリティソフトが付属します。本製品の各種設定に加え、接続先のさまざまな情報を取得できます。初心者からヘビーユーザーまで幅広い使い方ができます。

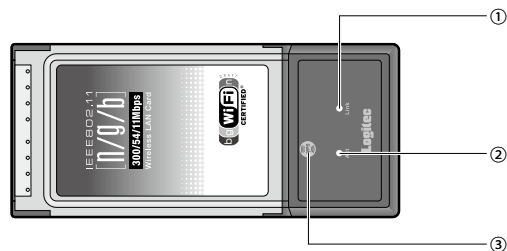
●WMMによりマルチメディアコンテンツの安定した再生が可能

QoSに準拠した「WMM（Wi-Fi Multimedia）」により、マルチメディアコンテンツに優先的に帯域を割り当てることができます。これにより、安定したストリーミング通信を可能にします。

●プロファイル機能を搭載

接続先ごとに無線LAN設定を変更しないで済むように、設定を保存できるプロファイル機能を搭載しています。会社や自宅と外出先での設定の切り替えはもちろん、認証方式の保存にも役立ちます。

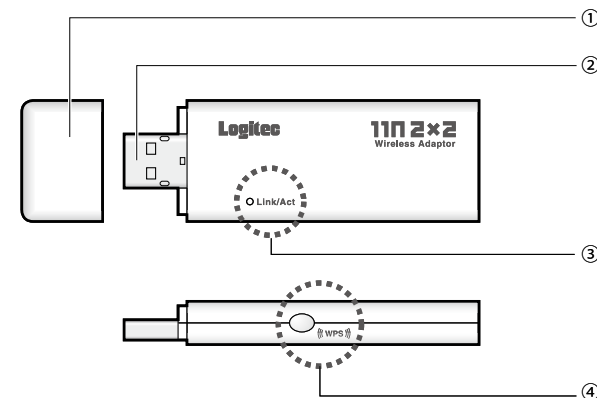
4 各部の名称とはたらき

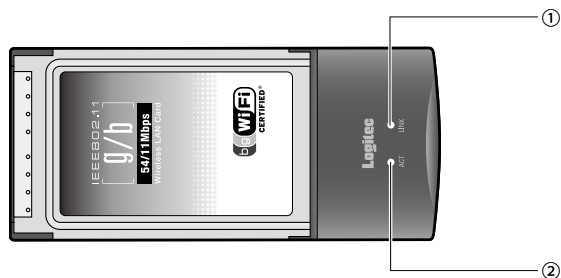
LAN-WN23/CB

番号	名称	はたらき
①	Link ランプ（緑色）	点灯：無線 AP または無線ルータとリンクしています。 消灯：無線 AP または無線ルータとリンクできていません。
②	Activity ランプ（オレンジ色）	点灯：本製品が電波を発信している状態です。 点滅：データ転送中です。 消灯：PC に認識されていません。
③	設定ボタン	WPS 機能を利用する場合に使います。詳しくは P27「WPS の設定ボタンを使って接続する」をお読みください。

LAN-WN23/EC

番号	名称	はたらき
①	Link/Activity ランプ（緑色）	点滅：無線 AP または無線ルータとリンクしています。データ転送中も点滅します。ゆっくり点滅しているときは、本製品の電波出力がオフの状態です。 消灯：無線 AP または無線ルータとリンクできていません。
②	設定ボタン	WPS 機能を利用する場合に使います。詳しくは P27「WPS の設定ボタンを使って接続する」をお読みください。

LAN-WN22/U2・LAN-WN12/U2

LAN-WN22/U2 と LAN-WN12/U2 は、各部の名称とはたらきは共通です。ここでは、LAN-WN22/U2 を使って各部の機能を説明しています。

番号	名称	はたらき
①	保護キャップ	未使用時に USB コネクタを保護するキャップです。
②	USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続します。
③	Link/Activity ランプ（緑色）	点灯：本製品の電波出力がオフの状態です。
		点滅：無線 AP または無線ルータとリンクしています。データ転送中も点滅します。 消灯：無線 AP または無線ルータとリンクできていません。
④	設定ボタン	WPS 機能を利用する場合に使います。詳しくは P27「WPS の設定ボタンを使って接続する」をお読みください。

LAN-WG/CBB

番号	名称	はたらき
①	Linkランプ（緑色）	点灯：無線APまたは無線ルータとリンクしています。 消灯：無線APまたは無線ルータとリンクできていません。
②	Activityランプ（オレンジ色）	点灯：本製品が電波を発信している状態です。 点滅：データ転送中です。 消灯：PCに認識されていません。

※本製品をWPS機能で無線ルータなどと接続する場合は、設定ユーティリティ上の[WPS]ボタンを使用します。

Chapter 2

導入編

このマニュアルは、無線LANアダプタ 5製品共通のマニュアルとなっております。
「LAN-WG/CBB」については、IEEE802.11g/11b規格のみに対応し、IEEE802.11n（Draft）規格には対応しておりません。そのためIEEE802.11n（Draft）に関連する一部の説明内容や画面例が「LAN-WG/CBB」に対応する機能と異なる場合があります。内容を読み替えてご利用ください。

1 ソフトウェアのインストール

付属のCD-ROMから必要なソフトウェアとドライバをインストールします。

注 意

ソフトウェアのインストールが完了するまで、本製品をパソコンに接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前に本製品を接続すると正常に動作しません。

1 本製品を接続するパソコンを起動します。起動時は、ご使用のOSにあわせて、以下の権限を持つユーザーでログオンしてください。

●Windows Vistaの場合
→「管理者(Administrator)」権限を持つユーザーアカウントでログオン

●Windows XP の場合
→「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログオン

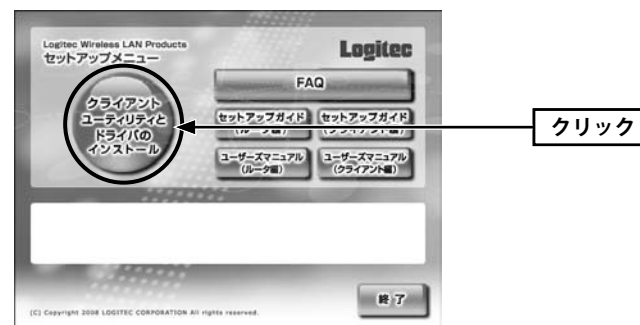
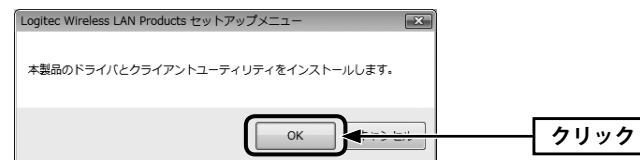
●Windows 2000 の場合
→「Administrator」の権限を持つユーザーでログオン

ユーザー権限は、「コントロールパネル」のユーザーアカウントで調べることができます。もし、ログオン中のアカウントに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるアカウントで再ログオンしてください。現在のユーザーの権限の確認方法は、P77「補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法」をお読みください。

2 付属のCD-ROMをドライブにセットします。

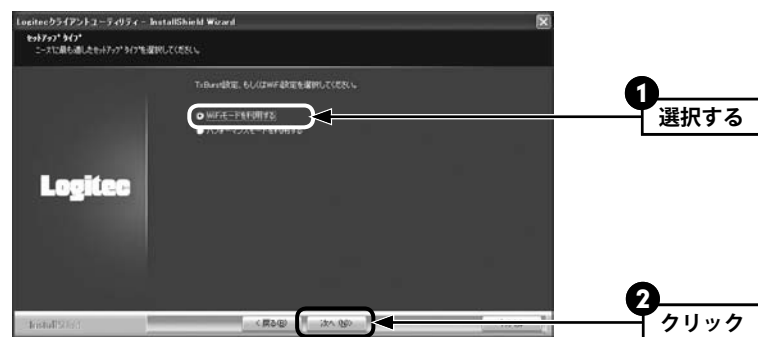
・自動的に「セットアップメニュー」が表示されます。

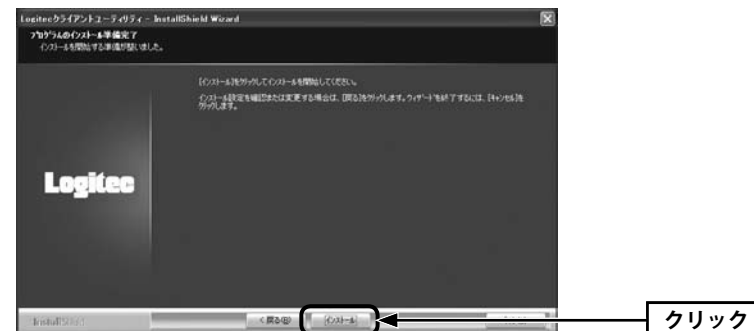
「セットアップメニュー」が表示されない場合
マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「menu (.exe)」アイコンをダブルクリックします。
Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合は、「menu.exeの実行」をクリックします。
〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されますので、［許可］をクリックします。

3 ［クライアントユーティリティとドライバのインストール］をクリックします。

4 インストールを確認するメッセージが表示されますので、 OK をクリックします。

・Windows Vistaをご使用の場合　→手順 7 へ
・Windows XPをご使用の場合　→手順 5 へ
・Windows 2000をご使用の場合　→手順 6 へ

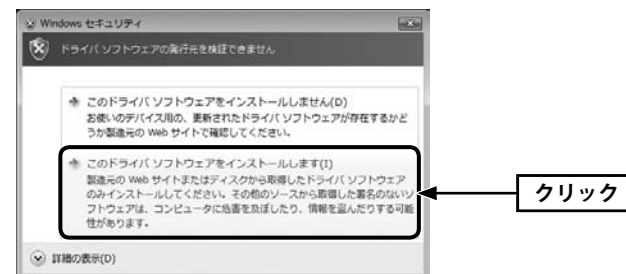
5 Windows XPをご使用の場合は、「Logitecクライアントユーティリティ」を選択し、 次へ をクリックします。通常はこちらを選択してください。

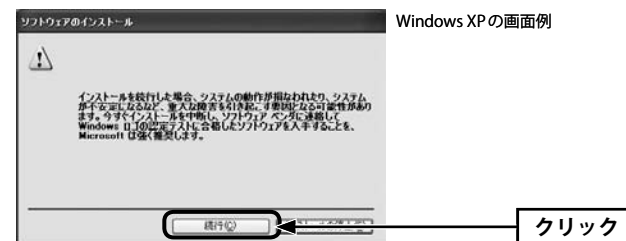
Microsoft Zero Configuration Tool
Windows XP標準の無線LAN設定ツールである「Zero Configuration」のほうが使い慣れているなどの理由がある場合に［Microsoft Zero Configuration Tool］を選択してください。通常は多彩な機能がある「Logitecクライアントユーティリティ」のご使用をお勧めします。なお、インストール後もメニューから設定方法を変更することができます。

6 **「WiFiモードを利用する」を選択し、 次へ をクリックします。**

パフォーマンスモードを利用する
通常、無線LANでは電波状態が不安定な場合でも、一定の転送速度でデータが送れるようにデータを小さく分割して送っています。データを小さく分割することで電波条件が悪い場所でも、ある程度の転送速度でデータを送れる反面、電波条件のよい場所では、データを小さく分割していることが原因で性能が十分に発揮できないことがあります。電波が強く安定した条件で使用する場合は、「パフォーマンスモードを利用する」を選択することで転送速度が向上することがあります。ただし、電波状態が不安定な場合にパフォーマンスモードを使用すると、WiFiモードよりも大幅に低下する恐れがあります。

7 **インストール をクリックします。**

・インストールが始まります。

8 **以下の画面が表示されます。説明を読んでインストール作業を続けます。**

●Windows Vistaの場合

・［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

●Windows XP/2000の場合

Windows XPの画面例

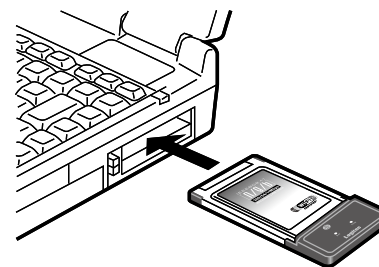
・Windows XPでは 続行 をクリックします。
・Windows 2000では「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されますので、 はい をクリックします。

9 **インストール完了のメッセージが表示されますので、完了 をクリックします。**

これで本製品を接続する準備ができました。次ページ「2. 本製品を取り付ける」へ進みます。

2 本製品を取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。なお、初めて本製品をパソコンに接続するときは、あらかじめソフトウェアのインストール(→P18)が必要です。

1 **パソコンに電源が入った状態で、パソコンのスロットまたはポートに本製品を接続します。**

※イラストはCardBusスロット用の無線LANカードの例です。実際にご使用の製品の接続イラストについては、付属の「かんたんセットアップガイド」を参照してください。

・LAN-WN23/CBおよびLAN-WG/CBB→CardBusスロットに本製品を差し込みます。
・LAN-WN23/EC→ExpressCardスロットに本製品を差し込みます。
・LAN-WN22/U2およびLAN-WN12/U2→USB2.0ポートに接続します。

2 **ご使用のOSによって、このあとの手順が異なります。**

●Windows Vistaの場合

しばらくすると、自動的にドライバのインストールが完了します。手順 7 へ進みます。

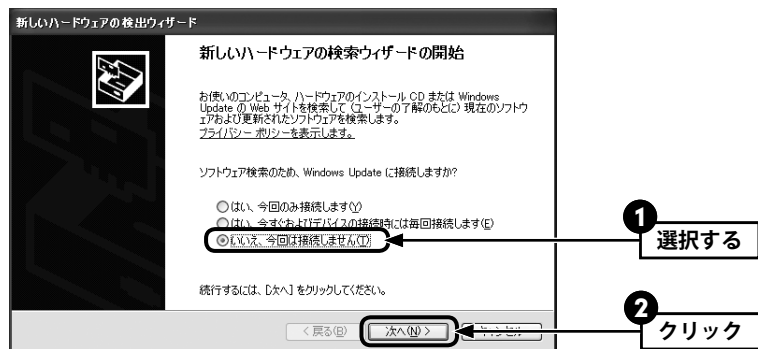
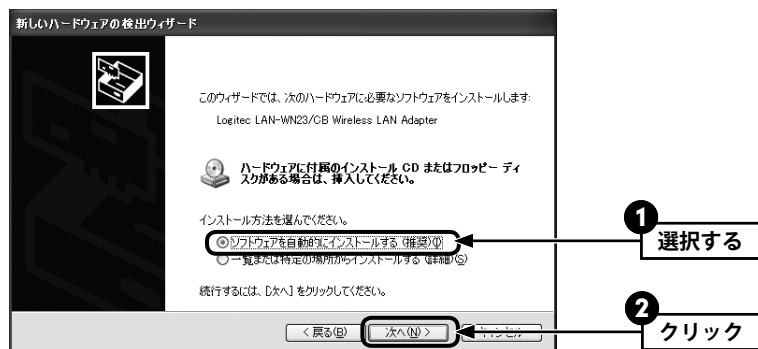
※LAN-WN23/CBの画面例です。実際にはご使用の製品の型番名が表示されます。

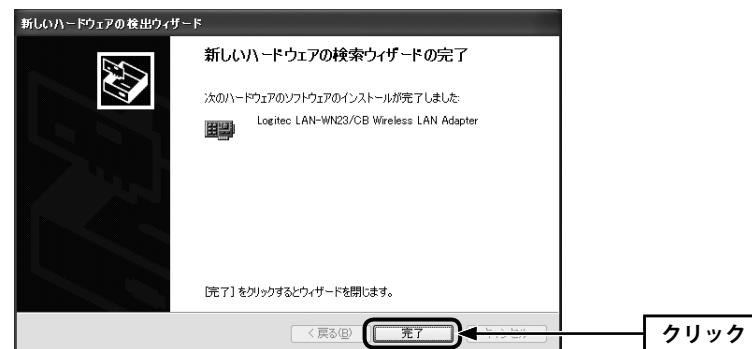
●Windows 2000の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されますので、はい をクリックします。手順 7 へ進みます。

●Windows XPの場合

手順 3 へ進みます。

3 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、 次へ をクリックします。

4 「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、 次へ をクリックします。

5 以下の画面が表示された場合は、 続行 をクリックします。

6 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されますので、 完了 をクリックします。

7 デスクトップ画面の右下にある「タスクトレイ」に「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコンが表示されていることを確認します。

Logitec クライアントユーティリティのアイコン

Microsoft Zero Configuration Toolを使用するように選択した場合

P19の手順 **5** で「Microsoft Zero Configuration Tool」を選択した場合は、アイコンは表示されません。

これで本製品の接続と、ドライバのインストールは完了です。次ページ「3. 無線LANで接続する」へ進みます。

3 無線LANで接続する

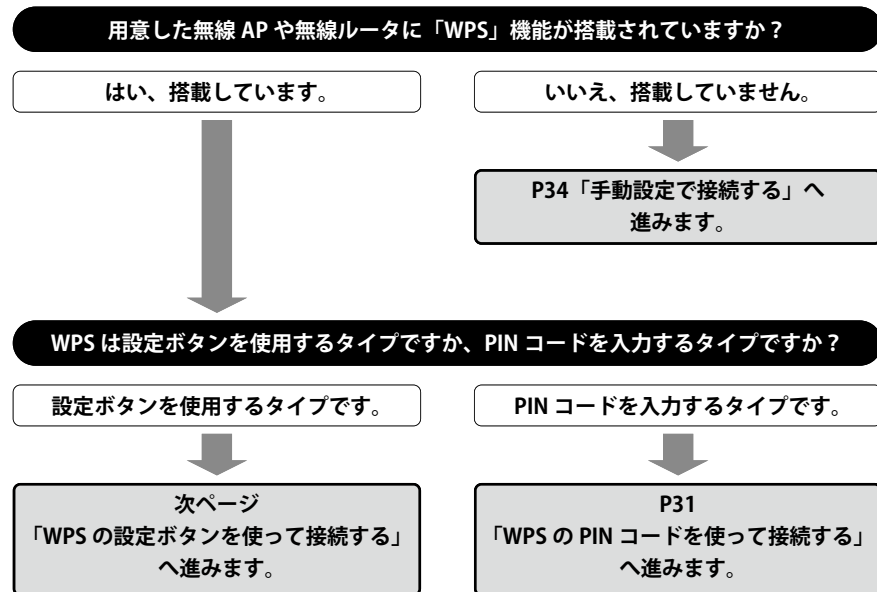
用意した無線APや無線ルータを経由して、本製品からインターネットに接続できるようにします。これらの機器に「WPS」機能が搭載されているか､いないかで接続方法が異なります。

無線LANへの接続方法を決める

用意した無線 AP や無線ルータに「WPS」機能が搭載されていますか？

はい、搭載しています。	いいえ、搭載していません。
↓	↓ P34「手動設定で接続する」へ進みます。

WPS は設定ボタンを使用するタイプですか、PIN コードを入力するタイプですか？

設定ボタンを使用するタイプです。	PIN コードを入力するタイプです。
次ページ「WPS の設定ボタンを使って接続する」へ進みます。	P31「WPS の PIN コードを使って接続する」へ進みます。

WPS機能について

Wi-Fiアライアンスの新しい規格です。WPS機能を搭載する無線LAN製品同士を接続する場合に、WPS機能を使ってセキュリティを含む無線LAN設定を自動的におこなって、すぐに使えるようにする機能です。WPS機能には、無線AP（無線ルータ）と無線クライアントのそれぞれに装備されたWPS用の「設定ボタン」を押すタイプと、「PINコード」と呼ばれる8桁の数字を入力するタイプの2種類があります。面倒なセキュリティ機能も含めて自動的に設定できますので、わずらわしかった無線LAN設定から一気に解放されます。

WPSの設定ボタンを使って接続する

WPS機能のうち、本製品と無線APまたは無線ルータに搭載されたWPS用の「設定ボタン」を使って、無線APまたは無線ルータに接続します。

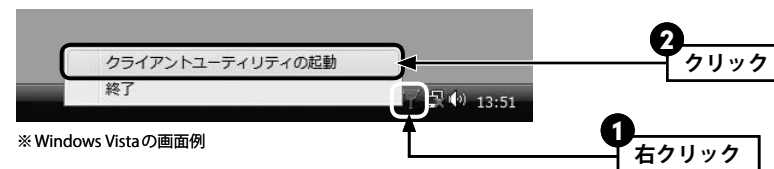
1 設定をはじめる前に、本製品と無線AP（無線ルータ）のWPS用の「設定ボタン」の場所を確認しておきます。

・本製品の「設定ボタン」の場所は、P14「各部の名称とはたらき」をお読みください。
・無線APおよび無線ルータの「設定ボタン」の場所は、それぞれの機器の説明書をお読みください。

WPS用の「設定ボタン」について

ご使用になる機器によっては、WPSボタンがハードウェアボタンとしては装備されておらず、設定ユーティリティ上のソフトウェアボタンをクリックする製品があります。それぞれの機器の説明書でご確認ください。

2 本製品を接続したパソコンを、接続先の無線AP（無線ルータ）と確実に通信できる場所に設置します。

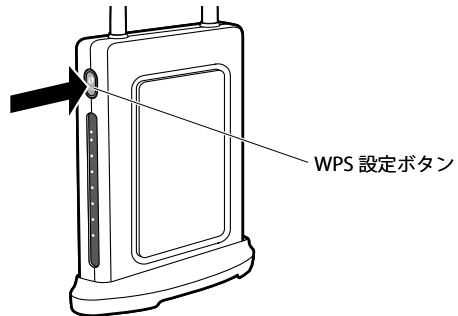
3 デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。

※Windows Vistaの画面例

・Logitecクライアントユーティティの画面が表示されます。

4 **ツールバーの[WPS]アイコンをクリックします。**

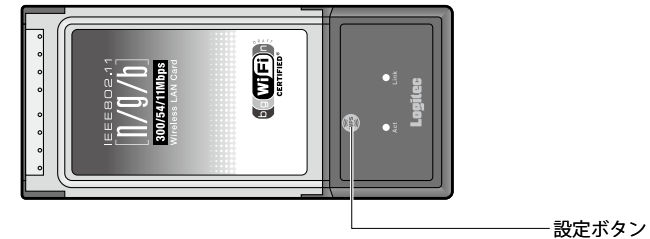
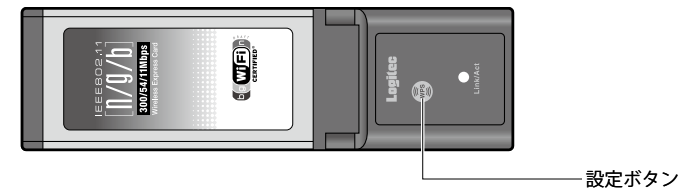
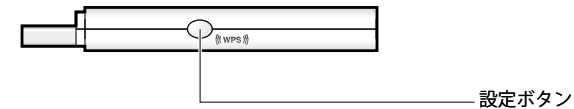
・〈WPS〉画面が表示されます。

5 **無線AP（無線ルータ）に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。**

◆弊社製無線ルータ「LAN-WN12/R」の例

・弊社製のWPS対応無線ルータをご使用の場合は、1秒間「WPS設定ボタン」を押して離します。
・他社製品のWPS用の「設定ボタン」を押す時間につきましては、それぞれの機器の説明書をお読みください。

注意
無線AP（無線ルータ）側がWPS用の信号を送信する時間は限られています。指定された時間以内に本製品の「設定ボタン」を押さないと接続できません。設定時間を過ぎた場合は、手順 5 6 をくり返してください。

6 **本製品のWPS用の「設定ボタン」を1秒以上押します。**

◆LAN-WN23/CB

◆LAN-WN23/EC

◆LAN-WN22/U2およびLAN-WN12/U2

◆LAN-WG/CBB
本製品には、ハードウェアによる「WPS設定ボタン」が装備されていません。〈WPS〉画面の WPS をクリックします。

・本体の「設定ボタン」を押すかわりに、本製品の「Logitecクライアントユーティリティ」の画面にある[WPS]ボタンを押す方法もあります。

7 **設定情報を正しく更新できると、ステータスに「Progress >> 100%」と表示されます。**

接続がうまくいかないとき

●100%にならない場合は、手順 **5** **6** をくり返してください。

●100%になっても無線通信できない場合、「WPSプロファイルリスト」にある接続先のSSID（弊社製無線ルータをご使用の場合は“logitecuser”）を選択し、画面右側の［接続］をクリックしてください。

これで無線AP（無線ルータ）との接続作業は完了です。P47「4. インターネットに接続する」へ進みます。

・Logitecクライアントユーティリティの右上にある［×］をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P27手順 **3** ）。

プロファイル機能について

本製品を接続したパソコンで、複数の無線APに接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。〈WPS〉画面の［プロファイルを追加］をクリックします。プロファイル機能の詳しい説明は、P54「プロファイルの登録方法」をお読みください。

WPSのPINコードを使って接続する

WPS機能のうち、本製品と無線APまたは無線ルータに搭載されたWPS用の「PINコード」を使って、無線APまたは無線ルータに接続します。

無線AP（無線ルータ）側に設定されたPINコードを無線アダプタに入力する方法と、無線アダプタ側に設定されたPINコードを無線AP（無線ルータ）に入力する方法があります。ここでは無線AP（無線ルータ）側に設定されたPINコードを本製品に入力する場合の操作の流れを説明します。

本製品のPINコードを無線AP（無線ルータ）に入力する場合

P62「5. WPS画面」をお読みになり、本製品の設定モードを「Enrollee」に設定したうえで、生成された本製品側のPINコードを無線AP（無線ルータ）側に入力してください。このとき無線AP（無線ルータ）側の設定モードは「Registrar」に設定してください。

1 **設定をはじめる前に、無線AP（無線ルータ）側の設定ユーティリティを表示するなどして、無線AP（無線ルータ）側のPINコードをメモします。**

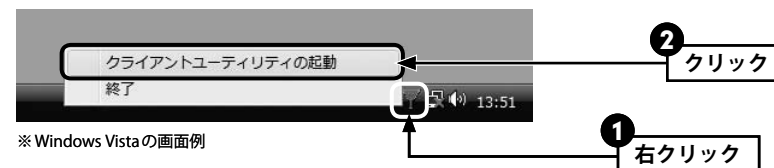
●無線AP（無線ルータ）側のPINコードをメモしてください。

無線AP（無線ルータ）のPINコード

・無線AP（無線ルータ）側のPINコードは「Enrollee」モードでのコードになります。

・無線AP（無線ルータ）側のPINコードの確認方法は、それぞれの説明書をお読みください。

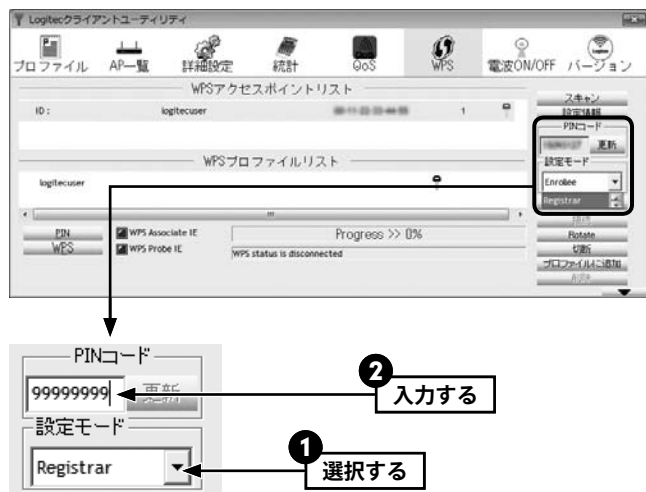
2 **本製品を接続したパソコンを、接続先の無線AP（無線ルータ）と確実に通信できる場所に設置します。**

3 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。**

※Windows Vistaの画面例

・Logitecクライアントユーティリティの画面が表示されます。

4 ツールバーの[WPS]アイコンをクリックします。

・〈WPS〉画面が表示されます。

5 設定モードで「Registrar」を選択し、手順 **1** でメモしたPINコードを入力します。

6 無線AP（無線ルータ）側のWPS機能を実行します。

・実行方法については、無線AP（無線ルータ）の説明書をお読みください。

7 PIN をクリックします。

8 設定情報を正しく更新できると、ステータスに「Progress >> 100%」と表示されます。

接続がうまくいかないとき

●100%にならない場合は、手順 **5** ～ **7** をくり返してください。

●100%になっても無線通信できない場合、「WPSプロファイルリスト」にある接続先のSSID（弊社製無線ルータをご使用の場合は“logitecuser”）を選択し、画面右側の 接続 をクリックしてください。

これで無線AP（無線ルータ）との接続作業は完了です。P47「4. インターネットに接続する」へ進みます。

・Logitecクライアントユーティリティの右上にある をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P27手順 **3** ）。

プロファイル機能について

本製品を接続したパソコンで、複数の無線APに接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。〈WPS〉画面の プロファイルを追加 をクリックします。プロファイル機能の詳しい説明は、P54「プロファイルの登録方法」をお読みください。

手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）

WPS機能がない無線LAN環境では、無線APまたは無線ルータに設定された無線LANの設定内容を本製品に設定します。ここでは、セキュリティ機能として、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKのいずれかを設定する手順も含めて説明しています。

1 **接続作業をはじめる前に、無線AP（無線ルータ）に設定されている無線LAN設定の項目を確認してメモします。**

●メモする内容

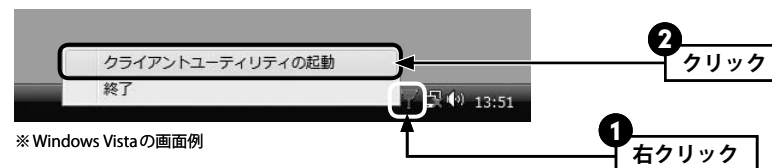
設定名	項目名	無線AP（無線ルータ）側の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証方式	□Open　□Shared　□WPA※　□WPA-PSK □WPA2※　□WPA2-PSK
設定値C	暗号化	□Non（データを暗号化しない） □WEP　□TKIP　□AES
設定値D	WPA-PSK WPA2-PSKの場合	パスフレーズ＝
設定値D	WEPの場合	・キー番号＝ ・入力する文字形式　□ASCII文字 □Hexadecimal（16進数） ・暗号キー＝
IEEE802.1x認証を 使用する場合		ネットワーク管理者にセキュリティ設定を依頼するか、ネットワーク管理者に必要な設定内容をお尋ねください。 設定に関する説明はP40「802.1x認証について」をお読みください。

※セキュリティに関する項目は、セキュリティ機能を使用している場合にメモしてください。なお、各項目の選択条件によって、表示される設定名の項目は変化します。
※WPAおよびWPA2は、IEEE802.1x認証との組み合わせで、WPAまたはWPA2を使用する場合です。パスフレーズキーを使用する場合は、WPA-PSKまたはWPA2-PSKになります。

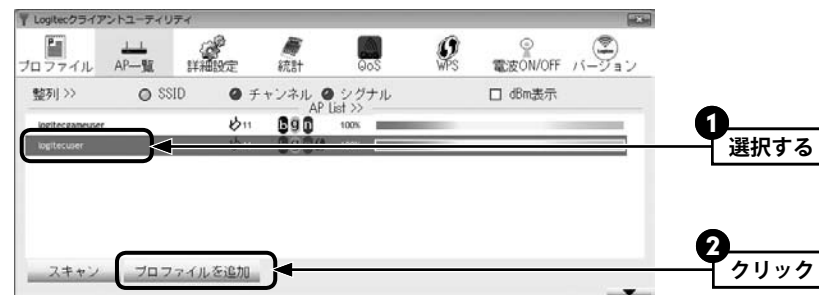
注意

ここにメモ書きした場合は、このマニュアルを他人に見られないように保管してください。

2 **本製品を接続したパソコンを、接続先の無線AP（無線ルータ）と確実に通信できる場所に設置します。**

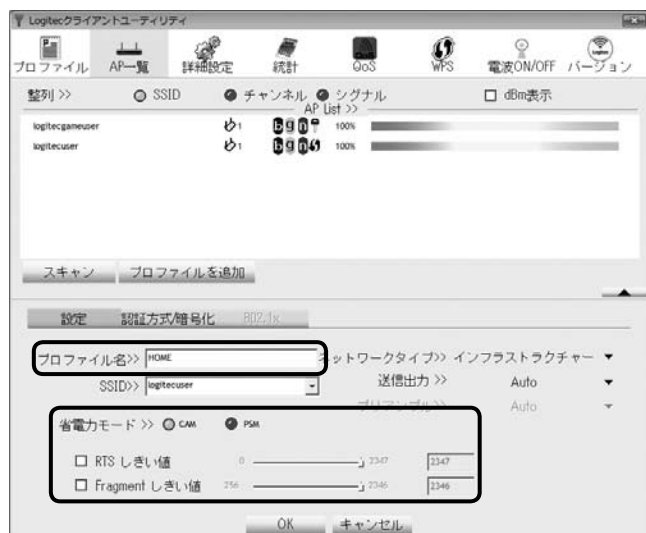
3 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。**

※Windows Vistaの画面例

・Logitecクライアントユーティリティの画面が表示されます。

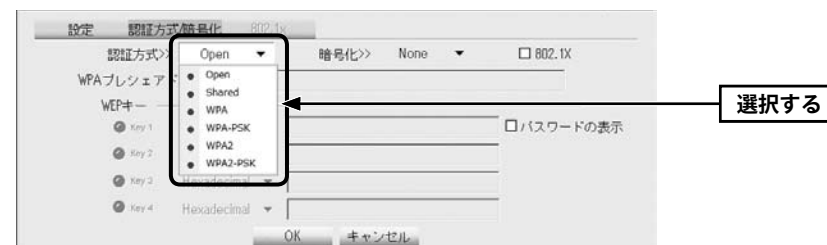
4 **リストに接続可能な無線AP（無線ルータ）の「SSID名」が表示されますので、接続したいSSIDを選択し、［プロファイルを追加］をクリックします。**

SSIDの秘匿機能をご使用の場合

「ブロードキャストSSID」「SSIDステルス」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は以下の手順で接続する無線LANのSSIDを登録してください。

❶ツールバーの［プロファイル］をクリックします。
❷［追加］をクリックします。
❸「プロファイル名（例：My Home）」「SSID（あらかじめメモした設定値Aの内容）」などを設定します。※SSIDは大文字と小文字が区別されます。
❹手順 **5** へ進みます。

5 **必要に応じてプロファイル名を変更したり、オプションを設定します。**

・「プロファイル名」の初期値は「PROF（+設定順の番号）」です。HOME、OFFICEなど分かりやすい名前に変更できます。
・その他のオプションの説明はP54「プロファイルの登録方法」をお読みください。

6 **【認証方式/暗号化】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 10 へ進ます。**

7 **あらかじめメモした「設定値B」を参考に「認証方式」を選択します。**

8 **あらかじめメモした「設定値C」を参考に「暗号化」の方式を選択します。**

※画面は「認証方式」でWPA-PSKを選択した場合の例

9 **暗号キーを入力します。「認証方式」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。**

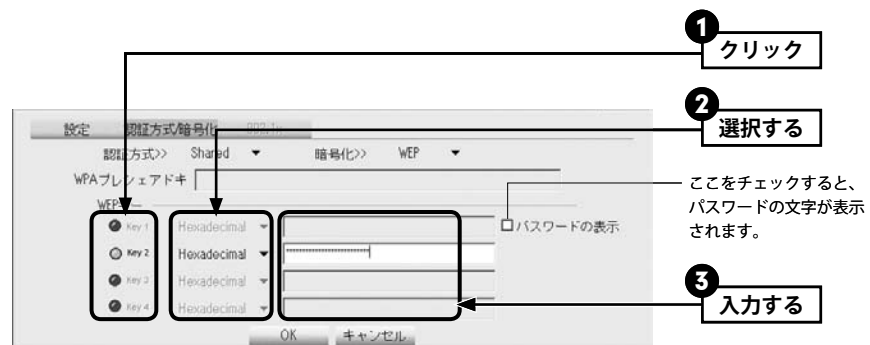
注 意

802.1x認証をご使用の場合
ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って、【802.1x】タブに表示される項目を設定してください。設定が終われば、手順 10 へ進みます。設定に関する説明はP40「802.1x認証について」をお読みください。

●WPA-PSK/WPA2-PSKを選択した場合

「WPA プレシェアードキー」に、あらかじめメモした「設定値D」の暗号キーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

●WEPを選択した場合

あらかじめメモした「設定値D」の内容を設定します。

❶ 使用するWEPキー番号をクリックします。
❷ 文字形式を選択します。ASCII文字を使用する場合は、[▼]ボタンをクリックして変更します。
❸ WEPキーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

注意

「WEP」では、WEPキーの文字だけでなく、使用するキー番号、文字形式も無線AP（無線ルータ）と全く同じに設定する必要があります。

10　設定が終われば OK をクリックします。

11　プロファイル画面が表示されます。プロファイルリストで設定したプロファイルを選択し、接続 をクリックします。

12　正常に接続できると、「接続状態 >> 100%」と表示されます。

これで無線AP（無線ルータ）との接続作業は完了です。P47「4.インターネットに接続する」へ進みます。

・Logitecクライアントユーティリティの右上にある [×] をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P27手順 3 ）。

802.1x認証について

認証方式に「Open」を選択して暗号化に「WEP」を選択している場合、または認証方式に「WPA」「WPA2」を選択している場合は、「IEEE802.1x認証」を使用することができます。IEEE802.1x認証は、オフィスなど大規模なネットワークでユーザー認証を厳格に扱う場合に使用されます。
IEEE802.1x認証を使用する場合は、ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

◆【802.1x】タブ

●IEEE802.1x認証を有効にするには
認証方式で「Open」または「WPA」、「WPA2」のいずれかを選択すると、「802.1x」が有効になりますので、□をクリックします。青色が有効(IEEE802.1x認証を使用する)な状態です。

●設定方法
❶【802.1x】タブをクリックし、必要な内容を設定します。
❷ 認証方式を選択します。
❸ 認証方式に「PEAP」を選択した場合に[プロトコール]を選択します。
❹ ネットワーク管理者の指示内容に従って、【ID/パスワード】、【証明書】、【認証サーバ】の各タブの必要な項目を入力します。
❺ 設定が終われば、 OK をクリックして設定を保存します。

Ad hocモードで接続する

無線AP(無線ルータ)を使わずに、無線クライアント同士で直接通信するAd hocモードでの接続方法について説明します。Ad hocモードの設定を始める前に、無線クライアントのドライバおよびLogitecクライアントユーティリティのインストールを完了しておいてください。なお、Ad hocモードでは、WPS機能は利用できません。

●Ad hocモードを設定するには
Ad hocモードで使用する場合は、必ずいずれかの無線クライアントについて手動でSSIDやセキュリティ設定をおこなってください。
設定した1台の無線クライアントを起動し、他の無線クライアントは、Logitecクライアントユーティリティの「AP一覧」からSSIDを選択することで、セキュリティ設定を手動で入力するだけにできます。

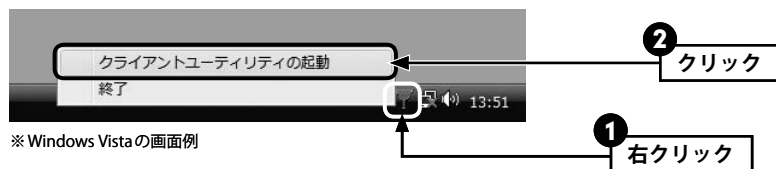
1　接続作業をはじめる前に、Ad hocモードで使用する無線LAN設定の項目を決めます。

設定名	項目	設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証方式	□Open　□WPA2-PSK
設定値C	暗号化	□Non(データを暗号化しない) □WEP　□AES
設定値D	WPA2-PSKの場合	パスフレーズ＝
設定値D	WEPの場合	・キー番号＝ ・入力する文字形式　□ASCII文字 □Hexadecimal(16進数) ・暗号キー＝

※セキュリティに関する項目は、セキュリティ機能を使用している場合にメモしてください。なお、各項目の選択条件によって、表示される設定名の項目は変化します。
※Ad hocモードにおけるセキュリティ設定は、WEPまたはWPA2-PSK(AES)のいずれかになります。

注 意

ここにメモ書きした場合は、このマニュアルを他人に見られないように保管してください。

2 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。**

※Windows Vistaの画面例

・Logitecクライアントユーティリティの画面が表示されます。

3 **ツールバーの［プロファイル］を選択し、 追加 をクリックします。**

・設定画面が表示されます。

4 **「ネットワークタイプ」で［Adhoc］を選択します。必ず変更する必要があります。**

5 **「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」の手順 5 ～ 9 （P36・37）を参考に、あらかじめ決めた設定値（P34の手順 1 の内容）を入力します。**

6 **設定が終われば、 OK クリックし、設定を保存します。**

7 **プロファイルリストに登録されますので、リストのプロファイル名を選択し、 接続 をクリックします。**

・これで1台目の無線クライアントの設定は完了です。

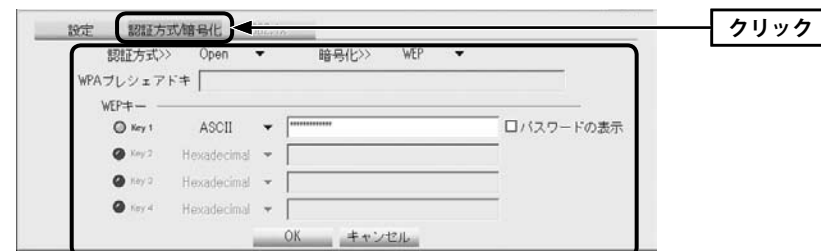
8 **他の無線クライアントのLogitecクライアントユーティリティを起動します。**

弊社製の無線クライアントでも、本製品と異なるクライアントユーティリティを使用している場合や、他社製品の無線クライアントの場合は、それぞれの説明書をお読みになり、P34手順 **1** の内容を設定してください。

9 **リストから手順 5 で設定した無線クライアントの「SSID名」を選択し、 プロファイルを追加 をクリックします。**

・設定画面が表示されます。

10 **セキュリティ設定以外は、自動的に設定されます。必要に応じてプロファイル名を変更します。**

11 **セキュリティ機能を設定している場合は、【認証方式/暗号化】タブをクリックし、セキュリティ機能を設定します。**

設定の方法について

「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」の手順 **7** 〜 **9** （P37）を参考にセキュリティ機能を設定します。

Ad hocモードで使用できるセキュリティ機能は、WEPまたはWPA2-PSK（AES）の2種類だけです。

12 **すべての設定が終われば OK をクリックします。**

13 **プロファイル画面が表示されます。ここで設定したプロファイルをリストから選択し、 接続 をクリックします。**

14 **正常に接続できると、「接続状態 >> 100%」と表示されます。**

これでAd hocモードでの接続作業は完了です。

・Logitecクライアントユーティリティの右上にある ✕ をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P27手順 **3** ）。

4 インターネットに接続する

無線LANがつながれば、無線LANを経由してインターネットに接続できるかテストします。

1 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

ロジテック Web サイト http://www.logitec.co.jp/

Chapter 3

詳細設定 編

このマニュアルは、無線LANアダプタ 5製品共通のマニュアルとなっております。
「LAN-WG/CBB」については、IEEE802.11g/11b規格のみに対応し、IEEE802.11n（Draft）規格には対応しておりません。そのためIEEE802.11n（Draft）に関連する一部の説明内容や画面例が「LAN-WG/CBB」に対応する機能と異なる場合があります。内容を読み替えてご利用ください。

1 AP一覧（メイン）画面

Logitecクライアントユーティリティを起動すると、〈AP一覧〉画面が表示されます。〈AP一覧〉画面は、本製品が電波を受信可能な範囲にある無線APをSSID別にリストで表示する画面です。ここでは、〈AP一覧〉画面および画面の基本的な内容について説明します。

◆〈AP一覧〉画面

無線AP側で「ブロードキャストSSID」「SSIDステルス」などSSIDを秘匿する機能を有効にしているSSIDについては、画面に表示されません。

●ツールバーの内容

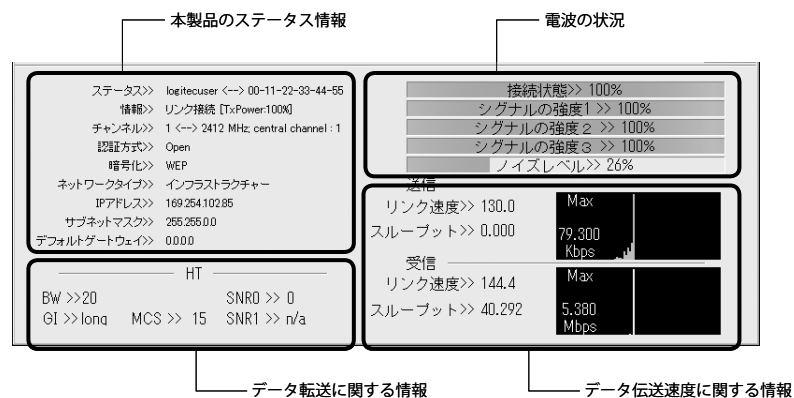
プロファイル	本製品のプロファイル機能により登録したプロファイルの情報を表示します（→P53）。
AP一覧	本製品が電波を受信可能な範囲にある無線APをSSID別にリストで表示します。
詳細設定	詳細設定画面では、本製品の無線LAN機能のオプション項目を選択できます（→P59）。
統計	送信および受信の統計情報を表示します（→P64）。
QoS	QoSを必要とするストリーミングなどのマルチメディアデータの転送規格である「WMM（Wi-Fi Multimedia）」について設定できます（→P60）。
WPS	WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。「設定ボタン」「PINコード」のいずれにも対応します（→P62）。
電波ON/OFF	このアイコンを押すたびに、本製品からの電波の発信をオン/オフにできます。電波の発信がオンのときは緑色、オフのときは赤色で表示されます。
バージョン	本製品の情報を表示します。本製品のアップデートやサポートで必要になることがあります（→P65）。

●画面の項目

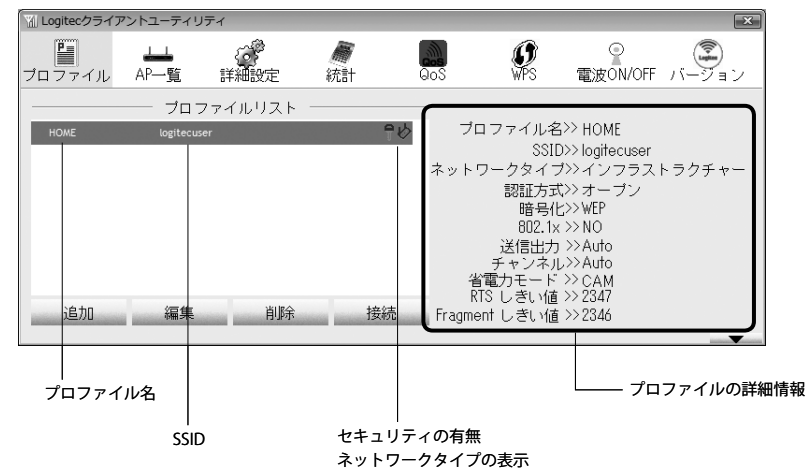
整列	一覧に表示される接続先について、SSID、チャンネル、シグナルの3項目を、選択した項目で並び替え（ソート）ができます。
dBm表示	電波の受信感度を「%」の替わりに「dBm」で表示します。
スキャン	周囲の電波の状態を再スキャンします。リストが更新されます。
プロファイルを追加	リストで選択したSSIDの設定をプロファイルに保存します。プロファイルについてはP53「プロファイル 画面」を参照してください。

ステータスの表示

Logitecクライアントユーティリティの画面右下にある ▼ をクリックすると、本製品および接続中の無線LAN環境の詳細なステータスを表示することができます。

◆〈ステータス〉画面

2 プロファイル 画面

本製品は、プロファイル名を付けることで、複数の無線LAN環境（SSIDやセキュリティ設定など）を保存することができます。接続先にあわせて、保存したプロファイルを切り替えることで、異なる無線LAN環境に簡単に接続できます。

◆〈プロファイル〉画面

●ボタンの説明

追加	新しいプロファイルを追加します。登録方法は、次ページの「プロファイルの登録方法」をお読みください。
編集	リストで選択したプロファイルを編集できます。編集方法については、次ページの「プロファイルの登録方法」を参考にしてください。
削除	リストで選択したプロファイルを削除します。
接続	リストで選択したプロファイル情報をもとに、接続先にアクセスします。

プロファイルの登録方法

プロファイルを登録する方法は、以下の3通りあります。

手動設定による登録	手動ですべての項目を入力します。
AP一覧より追加	AP一覧に表示されているSSIDについて、取得可能な情報を自動的に登録します。ただし、セキュリティ設定など自動では取得できない情報は、手動で入力する必要があります。 「AP一覧」から、プロファイルを登録したい接続先を選択し、[プロファイルを追加]ボタンをクリックします。「手動設定による登録」の手順を参考に不足の情報を設定してください。
WPSプロファイルリストより追加	WPS機能で取得した情報をプロファイルとして保存します。 〈WPS〉画面で「WPSプロファイルリスト」から、プロファイルを登録したい接続先を選択し、[プロファイルに追加]ボタンをクリックします。すべての情報が自動的に登録されます。必要に応じてプロファイル名をお好みの名称に変更してください。

手動設定による登録

ここでは、手動設定による登録方法について説明します。AP一覧より追加、WPSプロファイルリストより追加および登録済みのプロファイルを編集する場合も、この説明を参考に設定してください。

1 〈プロファイル〉画面を表示し、 追加 をクリックします。

2 【設定】タブの内容を設定します。

・無線AP（無線ルータ）に接続して使用している場合は、プロファイル名とSSIDの設定だけでかまいません。その他の項目は初期値が標準的な設定値になっています。
・無線クライアント同士で接続する場合は、さらに「ネットワークタイプ」を[AdHoc]に変更します。

プロファイル名	半角英数字でわかりやすいプロファイル名を入力します。
SSID	半角英数字でSSIDを入力します。大文字と小文字を区別して入力します。「SSID」の[▼]ボタンをクリックすると、現在接続可能なSSIDのリストから選択できます。
ネットワークタイプ	無線AP（無線ルータ）と接続する場合は[インフラストラクチャー]を、無線クライアント同士で直接接続する場合は[Adhoc]を選択します。（初期値：インフラストラクチャー）
送信出力	「Auto（環境にあわせて自動調整）」、100%、75%、50%、25%、10%、Lowest（電波を出力しない）から選択できます。
プリアンプル	Ad hocモードの場合に設定できます。無線通信の同期をとるプリアンプル信号の種類（長さ）を選択します。「Auto（ショートとロングの両方に対応）」、「Long（ロングのみに対応）」から選択できます。
チャンネル	Ad hocモードの場合に1～13chのうちから選択できます。
省電力モード	インフラストラクチャーモードの場合に設定できます。 （初期値：CAM） CAM：通常モードで使用します。 PSM：省電力モードで使用します。消費電力は抑えられますが、通信が不安定になる場合があります。

RTS しきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2347）
Fragment しきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。（初期値：2346）

3 【認証方式/暗号化】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 7 へ進みます。

4 「認証方式」を選択します。

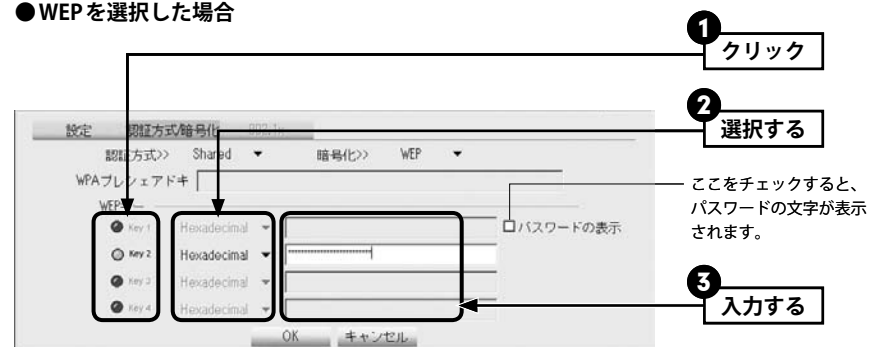
5 「暗号化」の方式を選択します。

※画面は「認証方式」でWPA-PSKを選択した場合の例

6 暗号キーを入力します。「認証方式」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。

注意

802.1x認証をご使用の場合
ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って、【802.1x】タブに表示される項目を設定してください。設定が終われば、手順 7 へ進みます。設定に関する説明はP40「802.1x認証について」をお読みください。

●WPA-PSK/WPA2-PSKを選択した場合
「WPA プレシェアードキー」に暗号キーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

●WEPを選択した場合

❶ 使用するWEPキー番号をクリックします。
❷ 文字形式を選択します。ASCII文字を使用する場合は、[▼]ボタンをクリックして変更します。
❸ WEPキーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

注意

「WEP」では、WEPキーの文字だけでなく、使用するキー番号、文字形式も無線AP（無線ルータ）と全く同じに設定する必要があります。

7 **設定が終われば OK をクリックします。**

8 **プロファイル画面に新しいプロファイルが追加されます。接続を確認する場合は、プロファイルリストで設定したプロファイルを選択し、 接続 をクリックします。**

9 **正常に接続できると、「接続状態 >> 100%」と表示されます。**

3 詳細設定 画面

〈詳細設定〉画面では、本製品の無線LAN機能のオプション項目を選択できます。

◆〈詳細設定〉画面

●項目の説明

項目	説明
無線動作モード	対応する周波数帯が複数ある場合に選択できます。本製品は「2.4G（Hz）」以外は選択できません。
TX Burstを有効	バースト転送でデータを送信する場合にオンにします。 Windows Vistaでは初期値がオンです。Windows XP/2000については、インストール時に「パフォーマンスモードを利用する（→P20）」をオンにした場合、この項目がオンになっています。
TCPウィンドウサイズの変更を有効	無線通信の品質を向上させるために、TCPウィンドウサイズを自働的に調整する機能です。オンにすることで、通信品質が向上する場合があります。（初期値：無効）
Fast Roaming	無線ローミングをおこなう場合に、APを切り替える際の電波強度しきい値を設定します。通常はオフのままにしてください。

4 QoS 画面

QoS（Quality of Service）は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。本製品ではQoSを必要とするストリーミングなどのマルチメディアデータ転送の規格である「WMM（Wi-Fi Multimedia）」を利用することができます。

この機能を利用するには、無線AP側にもこの機能があり、設定が有効になっている必要があります。

◆〈QoS〉画面

●項目の説明

WMM有効	WMM（Wi-Fi Multimedia）により安定したストリーミング通信をするための帯域を優先的に確保するかを設定します。（初期値：無効）
WMM-省電力有効	WMMの拡張機能である省電力設定ができます。WMMが有効な場合に設定可能です。消費電力を抑えながらWMMを利用できますので、モバイルでの利用に適しています。4種類のアクセスカテゴリ（AC）についての有効/無効が選択可能です。（初期値：無効）
Direct Link設定有効	指定したMACアドレスを持つ無線クライアントと直接データ転送する「Direct Link」機能について設定します。WMMが有効な場合に設定可能です。［Direct Link設定有効］を有効にした場合は、通信相手となる無線クライアントのMACアドレスを入力し、Direct Linkのタイムアウト値を設定します。この時間以内に通信相手とのリンクが確立しない場合は切断します。（初期値：［Direct Link設定有効］無効、［MACアドレス］未入力、［タイムアウト値］60秒）

●MACアドレスの登録

Direct Link設定有効をオン（有効）にした場合は、MACアドレスの入力欄に2桁ずつMACアドレスとタイムアウト値を入力し、適用 をクリックします。

・設定解除 をクリックすると設定を解除します。

5 WPS画面

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。この機能を使うと「WPS設定ボタン押す」または「PINコードを入力する」のいずれかの作業で、簡単にセキュリティ機能付きの無線LAN設定ができます。この機能を利用するには、接続する無線AP（無線ルータ）もWPS機能に対応している必要があります。

なお、ここでは画面の各項目について説明しています。WPS機能による無線AP（無線ルータ）との接続手順についてはP27「WPSの設定ボタンを使って接続する」をお読みください。

◆〈WPS〉画面

●項目およびボタンの内容

WPSアクセスポイントリスト	WPS機能に対応したアクセスポイント（無線APまたは無線ルータ）のリストを表示します。左からSSID、MACアドレス、使用チャンネル、セキュリティ設定の有無です。
WPSプロファイルリスト	WPS接続したプロファイルのリストを表示します。
PIN	PINコードを使用して無線AP（無線ルータ）と接続するときに、このボタンをクリックします。
WPS	WPS機能の設定ボタンを使用して無線AP（無線ルータ）と接続するときに、本製品本体に装備されたハードウェアボタンの替わりに、このボタンをクリックすることでWPS設定を実行できます。 また、ハードウェアボタンを搭載していないモデルでは、このボタンをクリックして設定する必要があります。
WPS Associate IE WPS Probe IE	非暗号化通信/暗号化通信が混在している環境においても通信可能とする機能です。通常は変更する必要はありません。 （初期値：ともにオンで有効）

スキャン	周囲の電波の状態を再スキャンします。リストが更新されます。
設定情報	WPSの設定情報画面を表示します。
PINコード	現在の「設定モード（RegistrarまたはEnrollee）」におけるPINコードを表示します。 設定モードが［Enrollee］のときは、［更新］ボタンをクリックすることでPINコードを更新することができます。
設定モード	PINコードの設定モードを選択します。 Registrar：無線AP（無線ルータ）に設定されたPINコードを本製品に入力して、無線LANを確立する場合に選択します。 Enrollee：本製品に設定したPINコードを無線AP（無線ルータ）に入力して、無線LANのリンクを確立する場合に選択します。
詳細	プロファイルリストにあるプロファイルを選択しているときにボタンが有効になります。 このボタンをクリックすると、選択したWPSプロファイルの設定情報が画面下に表示されます（下記、欄外参照）。
接続	WPSプロファイルリストにあるプロファイルを選択し、このボタンをクリックすると、選択したプロファイルで接続します。複数のWPSプロファイルがある場合に、接続先を選ぶことができます。
Rotate	WPSプロファイルリストにプロファイルが複数ある場合、このボタンをクリックすることで、接続可能な次のプロファイルを自動に選択して接続します。
切断	接続中または接続を試みているときに、このボタンをクリックすると、接続を切断または中止します。
プロファイルに追加	WPS機能に関係なく、すべてのプロファイルを保存する「プロファイル（→P53）」のプロファイルリストのほうにも登録します。

●WPSプロファイルの詳細画面

詳細 をクリックすると、プロファイルの設定情報を表示します。

6 その他の画面

統計画面、バージョン画面について説明します。

統計画面

送信および受信の統計情報を表示します。

◆〈統計〉画面　送信統計情報

◆〈統計〉画面　受信統計情報

●ボタンの内容

カウンターのリセット	統計情報のカウンターをリセットします。

バージョン画面

本製品のハードウェア、設定ユーティリティ、ドライバのバージョンなど、本製品の情報を表示します。本製品のアップデートやサポートで必要になることがあります。

◆〈バージョン〉画面

●ボタンの内容

WWW.LOGITEC.CO.JP	ロジテックホームページに接続します。インターネットに接続できる環境が必要です。

Appendix

付録編

このマニュアルは、無線LANアダプタ 5製品共通のマニュアルとなっております。
「LAN-WG/CBB」については、IEEE802.11g/11b規格のみに対応し、IEEE802.11n（Draft）規格には対応しておりません。そのためIEEE802.11n（Draft）に関連する一部の説明内容や画面例が「LAN-WG/CBB」に対応する機能と異なる場合があります。内容を読み替えてご利用ください。

1 ネットワーク設定マニュアルの読み方

本製品に付属のCD-ROMの中にはOSごとのネットワーク設定の方法について説明したPDF版「ネットワーク設定マニュアル」を収録しています。

●マニュアルの概要

このマニュアルは、ネットワークの基本的なことを説明した「基礎知識編」とOSごとのネットワーク設定の方法を説明した「各OS編」に分かれています。必要なファイルだけをA4サイズの用紙に印刷してご利用いただくと便利です。
なお、カラー対応になっていますのでカラープリンタで印刷していただくと、より分かりやすくなります。

ネットワーク設定マニュアルは有線LANでの説明になっていますが、無線LANでもネットワーク設定の方法は同じです。

●利用方法

①付属のCD-ROMをドライブに入れ、セットアップメニューを表示します。
②セットアップメニューの「FAQ」をクリックし、FAQ（Logitecサポート情報）を表示します。
③FAQトップページの一番下に「ネットワーク設定マニュアル」のリンクがありますので、クリックして説明をお読みください。

マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「manual」フォルダに収録されているファイルを直接ダブルクリックしてもご覧いただけます。

●「manual」フォルダの内容

「manual」フォルダには、本製品のマニュアルも収録されています。ネットワーク設定マニュアルのファイルは次のとおりです。

・ネットワーク設定マニュアルの利用法（.PDF）
・1-基礎知識編（.PDF）
・2-Windows_XP編（.PDF）
・3-Windows_ME_98編（.PDF）
・4-Windows_2000編（.PDF）
・5-Windows_Vista編（.PDF）

● Adobe Acrobat Readerをお持ちでない場合

「ネットワーク設定マニュアル」をお読みになるには、Acrobat（Adobe）Readerが必要です。お持ちでない場合は付属のCD-ROMからインストールしてください。

①マイコンピュータなどから付属のCD-ROMの内容を表示します。
②「acrobat_reader」フォルダがありますので、その内容を表示します。
③フォルダ内のプログラムアイコンをダブルクリックします。
④画面のメッセージに従ってインストールしてください。

2 無線LANトラブルチェック

●はじめに

無線LANに接続できない場合は、いったんすべての機器の電源を切ってください。次に以下の順に電源を入れ、もう一度、無線LANに接続できるか確認してください。

❶ ルータタイプのブロードバンドモデム、無線ルータをご使用の場合は、それらの電源を入れます。
❷ アクセスポイントをご使用の場合は、アクセスポイントの電源を入れます。
❸ 無線クライアントの電源を入れます。
❹ この状態で接続できないかを確認してください。接続できない場合は、このあとの 1 ～ 4 の順にチェックしてみてください。

添付CD-ROMのセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

1 クライアントユーティリティが起動するかを確認してください。

●起動する

2 へ進みます。

●起動しない

本製品のドライバが正常にインストールされていない可能性があります。いったんドライバを削除してから、再インストールしてください。

●クライアントユーティリティが見あたらない

Windowsの［プログラム］メニューに［Logitec］→［クライアントユーティリティ］がない場合は、クライアントユーティリティを再インストールしてください。
※インストール時にプログラムの場所やフォルダ名を変更している場合は、変更した場所を探してください。

2 クライアントユーティリティを起動したら、〈AP一覧〉画面のリストに、接続先の無線AP（無線ルータ）または無線クライアントのSSIDが表示されるかを確認してください。

●表示される

無線LAN機能は正常に動作しています。WPSを使用している場合は、もう一度、WPS機能を使って接続してください。手動設定の場合は、〈プロファイル〉画面でリストに接続先が登録されていることを確認のうえ、リストの接続先のプロファイル名を選択し、［接続］ボタンをクリックしてください。相手の共有フォルダが見えない場合は、ネットワーク設定が正しくありません。ネットワーク設定マニュアルをお読みになり、ネットワーク設定をおこなってください。

●表示されない

3 へ進みます。

3 無線クライアントが複数ある場合は、すべて接続できないのか、特定の無線クライアントだけが接続できないのかを確認してください。

●特定の無線クライアントだけが接続できない場合

Ⓐ その無線クライアントの無線LAN設定が間違っている可能性があります。そのクライアントのクライアントユーティリティを使ってSSID、通信モード、セキュリティ設定が正しいかをご確認ください。

Ⓑ アクセスポイントにMACアドレスフィルタリングを設定している場合は、アクセスポイントのユーティリティを使って、その無線LANクライアントが接続可能になっていることを確認してください。

無線AP（無線ルータ）を使用せず、無線クライアント同士で接続する場合は、「ネットワークタイプ」を「Adhoc」にする必要があります。この場合は、P41「Ad hocモードで接続する」を参照してください。

●どの無線クライアントからも接続できない場合、または、1台しか無線クライアントがない環境で接続できない場合

インフラストラクチャーモードの場合、アクセスポイントおよび無線クライアントのそれぞれの無線LAN設定を確認してください。

アクセスポイントと1台の無線クライアントについて、WEPなどのセキュリティ設定を無効にした状態で接続してみてください。その状態で接続できた場合は、セキュリティ設定が間違っています。それでも接続できない場合はSSIDと通信モードが正しいかを確認してください。

❹ それでも接続できない場合

次の「3. こんなときは」を参照してください。

3 こんなときは

無線LAN関係のトラブル

添付CD-ROMのセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

ネットワークの設定について

ネットワーク設定やIPアドレスを手動で割り当てる方法については、付属のCD-ROMにあるPDF版「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください。「ネットワーク設定マニュアル」の使い方についてはP68「1. ネットワーク設定マニュアルの読み方」をお読みください。

●無線LANがつながらない。

①通信モードを正しく設定していますか？　Ad hocモードの場合は、プロファイルの設定で、Ad hocモードを使用するように設定する必要があります。P41「Ad hocモードで接続する」を参照してください。

②ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

③ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。手順については、「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P68）。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●Ad hocモードでつながらない。

無線クライアントのうち1台は、必ずSSIDを設定してください。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①もう一度初めからやりなおしてください。

②PINコードによる設定の場合、PINコードの設定モードや、入力したPINコードが誤っていることがあります。もう一度初めからやりなおしてください。

WPS機能を利用した接続に失敗する場合

WPS機能を利用した接続に繰り返し失敗する場合は、手動で接続してください。手動での接続方法については、P34「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」をお読みください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。OSの［ネットワーク］画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。手順については、「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P68）。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り付けてください。OSのTCP/IPのプロパティにある［IPアドレス］タブで設定します。手順については、「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P68）。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P68）。

②ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。
・利用者がアクセスを許可するユーザーとして登録されていますか。ユーザーが登録されているか確認してください。
・利用者が共有フォルダにアクセスできるように設定していますか？　また、アクセス内容を正しく設定していますか。NTFSフォーマットのハードディスクの場合は、さらにセキュリティ設定でも利用者を登録しておく必要があります。

●Windows XP/2000でネットワーク設定ができない。

Administrator権限でログオンしていますか？　ネットワークの各種設定にはAdministrator権限がないと設定できない項目があります。

●Windows Vistaで[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示される。

Windows Vistaでは、パソコンの利用者が意図しない設定変更を防ぐため、重要な設定項目を変更するときに[ユーザーアカウント制御]ダイアログを表示して確認を促すようになっています。意図した操作であれば[続行]ボタンまたは[許可]をクリックしてそのまま操作を続けて問題ありません。

4　補足事項

補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法

Windowsにログオン中の現在のユーザー権限は、以下の方法で確認することができます。ログオン中のユーザーに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンするか、現在のユーザーの権限を変更してください。

●Windows Vistaの場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
・ リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。
❷ コントロールパネルの「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」→[ユーザーアカウント]の順でクリックします。
❸〈ユーザーアカウントの変更〉画面が表示されます。
❹ 画面右に現在のアカウントと権限が表示されます。
❺ 現在、設定されているアカウントが表示されます。ログオンしているアカウントが「Administrator」になっていることを確認します。

●Windows XPの場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
・リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。

（カテゴリ表示の場合）
❷［ユーザーアカウント]をクリックします。
❸「コントロールパネルを選んで実行します」の[ユーザーアカウント]をクリックします。
❹「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。

（クラシック表示の場合）
❷［ユーザーアカウント]をダブルクリックします。
❸「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。
❹ アカウントの変更（アカウントを変更する）をクリックします。

●Windows 2000の場合

コントロールパネルの[ユーザーとパスワード]でご確認ください。

補足2：本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスを知りたいとき

本製品のクライアントユーティリティからIPアドレスを知ることができます。

❶ クライアントユーティリティを起動します。
❷ クライアントユーティリティの右下にある をクリックします。
・〈ステータス〉画面が表示されます（→P51）。
❸「IPアドレス」に、無線クライアントを取り付けたパソコンのIPアドレスが表示されます。

補足3：ドライバとユーティリティの削除方法

本製品のドライバおよびLogitecクライアントユーティリティを削除（アンインストール）したい場合は、以下の手順でアンインストールしてください。ドライバを残し、Logitecクライアントユーティリティだけをアンインストールすることはできません。

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［すべてのプログラム］→［Logitec］→［クライアントユーティリティの削除］を順に選択します。
❷ 画面のメッセージに従ってドライバとクライアントユーティリティを削除します。
❸ Windowsを再起動します。

5 基本仕様

■LAN-WN23/CB、LAN-WN23/EC、LAN-WN22/U2、LAN-WN12/U2

無線LAN部

項目	型番	仕様
インターフェイス	LAN-WN23/CB	CardBusスロット（Type II）
	LAN-WN23/EC	PCMCIA ExpressCard/34
	LAN-WN22/U2	USB2.0 High-Speed（従来のUSB1.1にも対応）
	LAN-WN12/U2	
規格		IEEE802.11n（Draft）/IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域		2.412〜2.472GHz（中心周波数）
チャンネル		1〜13ch
伝送方式		11n（Draft）：OFDM方式　11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	LAN-WN23/CB	11n（Draft）：最大300Mbps 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
	LAN-WN23/EC	
	LAN-WN22/U2	
	LAN-WN12/U2	11n（Draft）：最大150Mbps 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式		インフラストラクチャー/アドホック
アンテナ方式	LAN-WN23/CB	内部アンテナ2本（送信2本、受信3本、MIMO方式）
	LAN-WN23/EC	
	LAN-WN22/U2	内部アンテナ2本（送信2本、受信2本、MIMO方式）
	LAN-WN12/U2	内部アンテナ2本（送信1本、受信2本）
送信出力		10mW/MHz以下
セキュリティ		WEP（64/128ビット） WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
設定方式		WPS（ボタン搭載）

一般仕様

項目	型番	仕様
消費電力（定格）		500mA
外形寸法/質量	LAN-WN23/CB	幅54×奥行118×高さ8mm/約40g
	LAN-WN23/EC	幅34×奥行116×高さ8mm/約24g
	LAN-WN22/U2	幅27×奥行83×高さ10mm/約13g
	LAN-WN12/U2	

■ LAN-WG/CBB

インターフェイス	Card Busスロット（Type II）
規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412～2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1～13ch
伝送方式	11g：OFDM方式、11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ/アドホック
アンテナ方式	ダイバーシティ
送信出力	10mW/MHz以下
セキュリティ	WEP（64/128ビット） WPA-PSK（TKIP）, WPA2-PSK（AES）
設定方式	WPS（ソフトウェア方式）
消費電力（定格）	500mA
外形寸法	幅54×奥行118mm×高さ8mm
質量	約40g

IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 CardBus用 無線LANカード　LAN-WN23/CB
IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 ExpressCard用 無線LANカード　LAN-WN23/EC
IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ　LAN-WN22/U2
IEEE802.11n（Draft）/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ　LAN-WN12/U2
IEEE80211g/11b準拠 CardBus用無線LANカード　LAN-WG/CBB
ユーザーズマニュアル

発行 2008年6月　第1版